

平成29年度 沖縄市の 市税の使いみち

うんじゅなーが納めてーる

「じえいきん！」

かんなとーいびーん！

沖縄市エイサーキャラクター
エイ坊



沖 縄 市

はじめに

I 市税の収入について

- | | | | |
|---|---------|-------|--------|
| 1 | 市税の徴収状況 | | 1ページ |
| 2 | 市税の推移 | | 2～3ページ |

II 市税の使いみち（目的別歳出決算Ver.）

- | | | | |
|---|--------------|-------|------|
| 1 | 目的別歳出決算内訳 | | 4ページ |
| 2 | 市税の支出先 | | 5ページ |
| 3 | 目的別歳出決算財源の内訳 | | 6ページ |

III 市税の使いみち（性質別歳出決算Ver.）

- | | | | |
|---|--------------|-------|----------|
| 1 | 性質別歳出決算内訳 | | 7ページ |
| 2 | 人件費 支出詳細 | | 8ページ |
| 3 | 扶助費 支出詳細 | | 9～10ページ |
| 4 | 普通建設事業費 支出詳細 | | 11～12ページ |
| 5 | 物件費 支出詳細 | | 13～14ページ |
| 6 | 補助費 支出詳細 | | 15ページ |
| 7 | 繰出金 支出詳細 | | 15ページ |
| 8 | 公債費 支出詳細 | | 16ページ |
| 9 | 積立金 支出詳細 | | 17ページ |

IV 特集～沖縄振興特別推進市町村交付金について～

- | | | | |
|---|-------------|-------|-------|
| 1 | 観光の振興 | | 18ページ |
| 2 | こどものまち推進 | | 19ページ |
| 3 | 安全・安心なまちづくり | | 20ページ |
| 4 | 産業の振興 | | 20ページ |
| 5 | その他の特殊事情 | | 21ページ |

V データ編

- | | | | |
|---|---------------------|-------|-------|
| 1 | 平成29年度決算データ一覧 | | 22ページ |
| 2 | 一般会計歳入 10年間の推移 | | 23ページ |
| 3 | 一般会計歳出（目的別） 10年間の推移 | ... | 24ページ |
| 4 | 一般会計歳出（性質別） 10年間の推移 | ... | 25ページ |

◆ はじめに ◆

みなさまが安全・安心に暮らしていくためには、医療・介護などの社会保障や学校教育、ごみの収集や道路・公園の整備など、国や県、市町村が行う公的サービスが欠かせません。

それらの公的サービスの運営には多大な費用がかかりますが、みなさまにはその費用を税金という形で負担していただいております。

その中でも『市税』は、市民のみなさまから直接市に納めていただいている税金であり、市民一人ひとりの生活を支える大変重要な財源であると言えます。

そのような事から『市税』については、市全体でその中身を理解し、市民のみなさまには正しく納税していただき、市役所は適切に使っていくことがとても大切です。

本冊子は、平成29年度の決算に基づき、市民の皆さまから納めていただいた市税について、その収入と支出の中身を説明する資料として作成しております。

市民のみなさまには、本冊子をご覧いただき、正しい納税と、沖縄市が行うまちづくりへのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



沖縄市エイサーキャラクター
さーちゃん

ゆたしく
うにげえー
さびら ♪

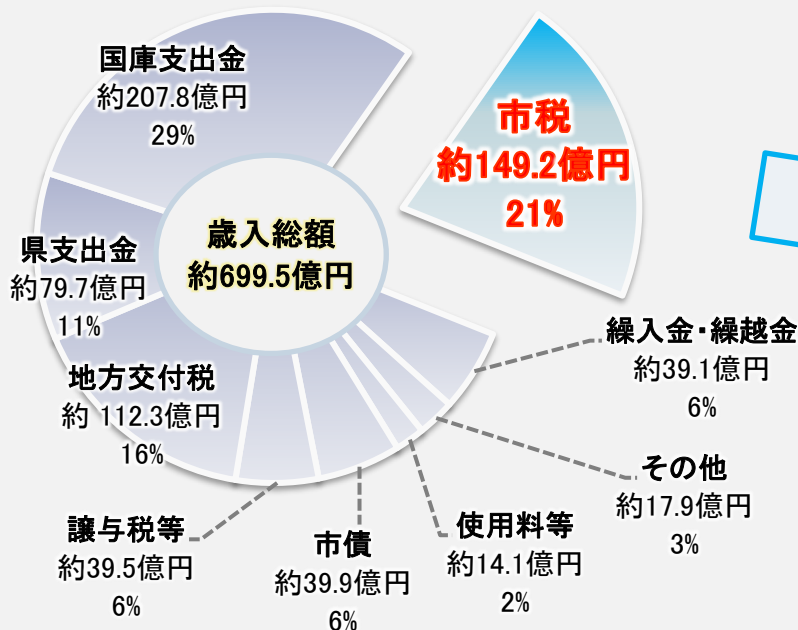
I 市税の収入について



平成29年度の沖縄市の収入が**約699.5億円**でした。
 そのうち、市民のみなさまに納めていただいた市税の
 決算額は**約149.2億円**でした。これを市民一人当たり*1にすると、
約105,388円納めていただいたことになります。

*1 人口は平成30年4月1日時点の人口(141,540人)を基準にしています。

平成29年度一般会計歳入決算内訳



市税の内訳は？

◆個人市民税

市内にお住まいの方に所得に応じて納めていただきました。

◆法人市民税

市内の会社(法人)の業種や規模に応じて納めていただきました。

◆固定資産税

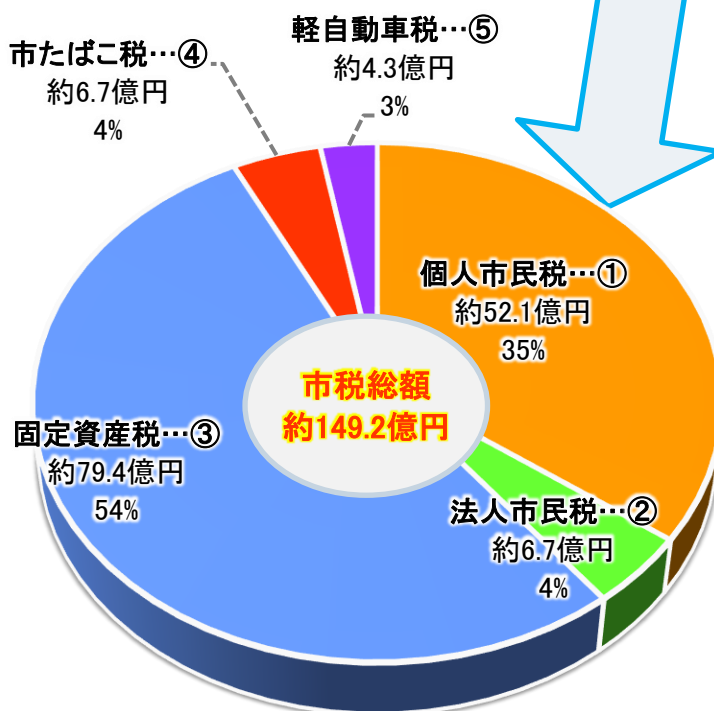
土地や家、マンションなどを持っている方に納めていただきました。

◆市たばこ税

卸業者が沖縄市のたばこ小売業者に売った際にかかる税です。

◆軽自動車税

軽自動車を所有する方に納めていただきました。

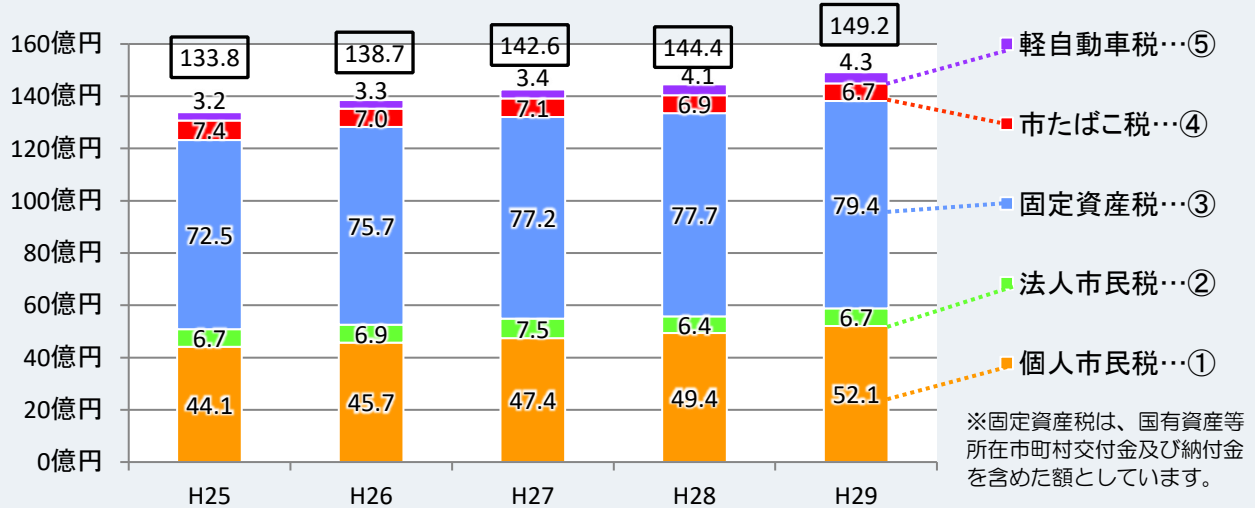


沖縄市の市税の過去5年間の推移です。
徴収額、徴収率ともに増加傾向にあり、市税は本市の財政運営において、非常に重要な財源となっております。



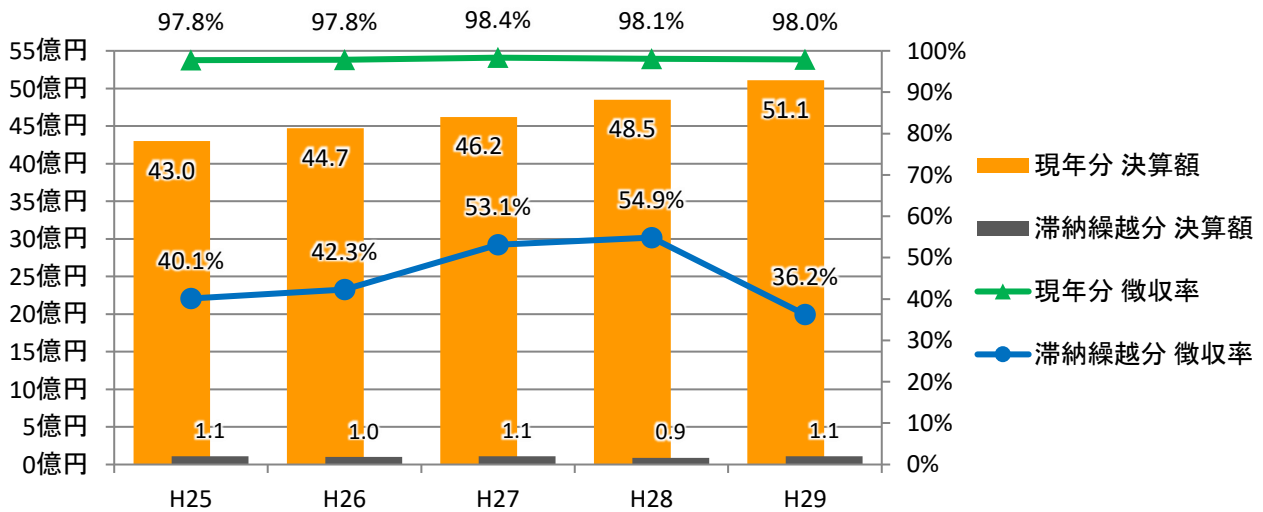
市税の決算推移(H25～H29)

(単位: 億円)



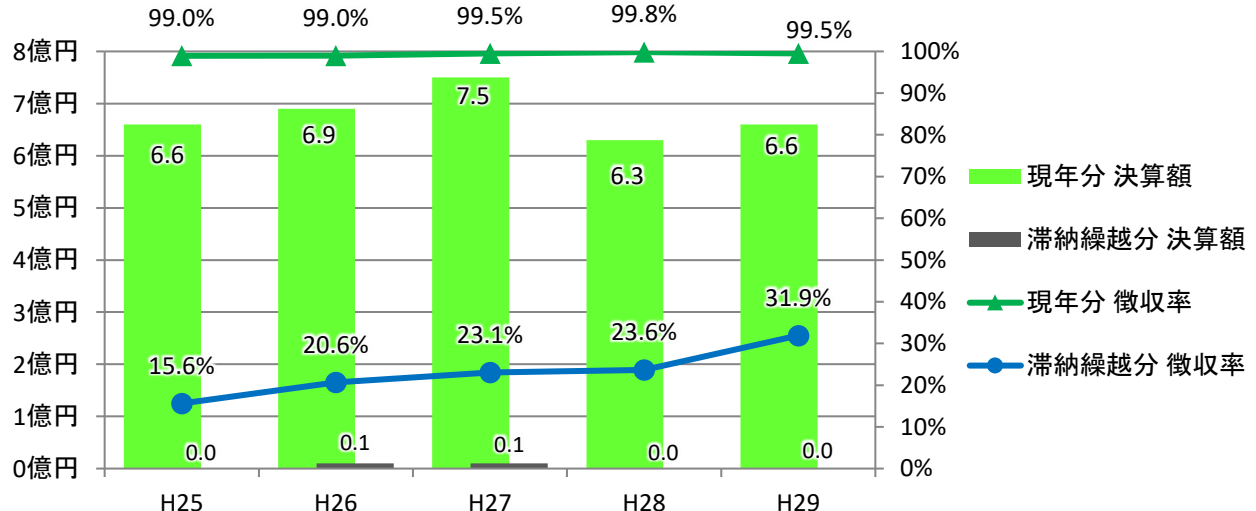
① 個人市民税の推移(H25～H29)

(単位: 億円)



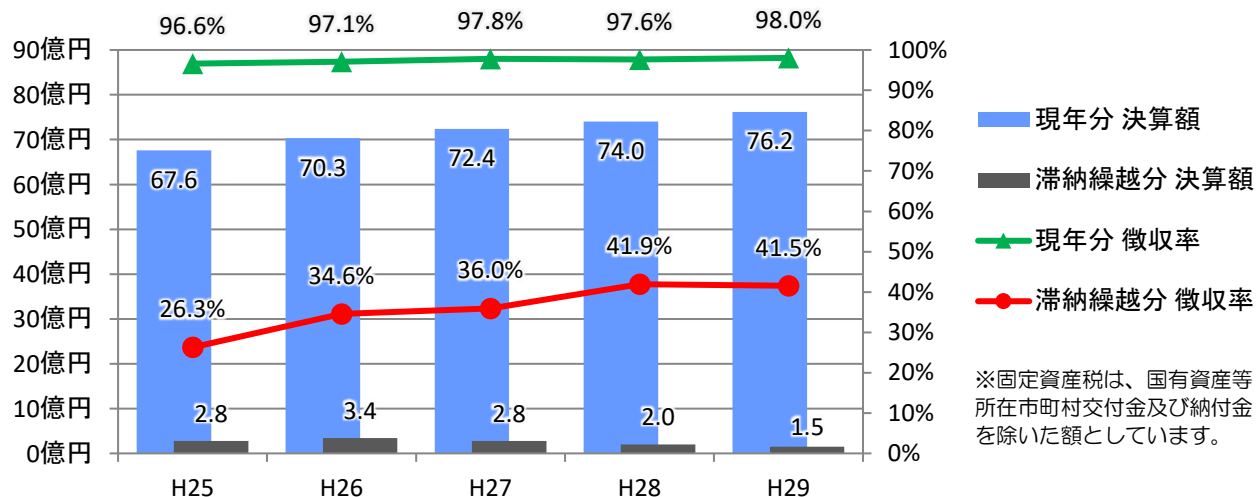
② 法人市民税の推移(H25～H29)

(単位: 億円)



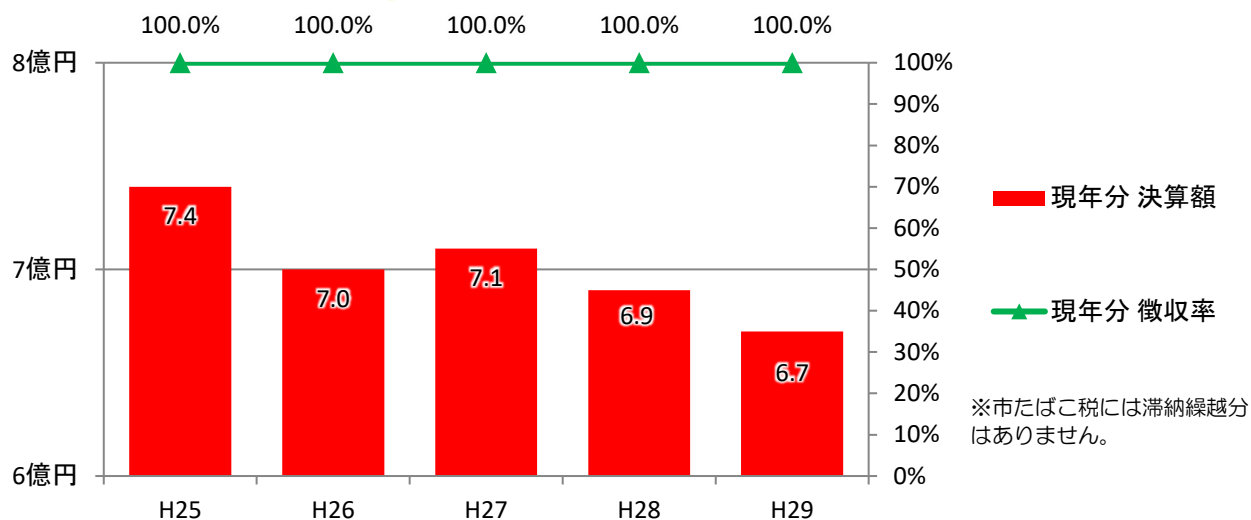
③固定資産税の推移(H25～H29)

(単位: 億円)



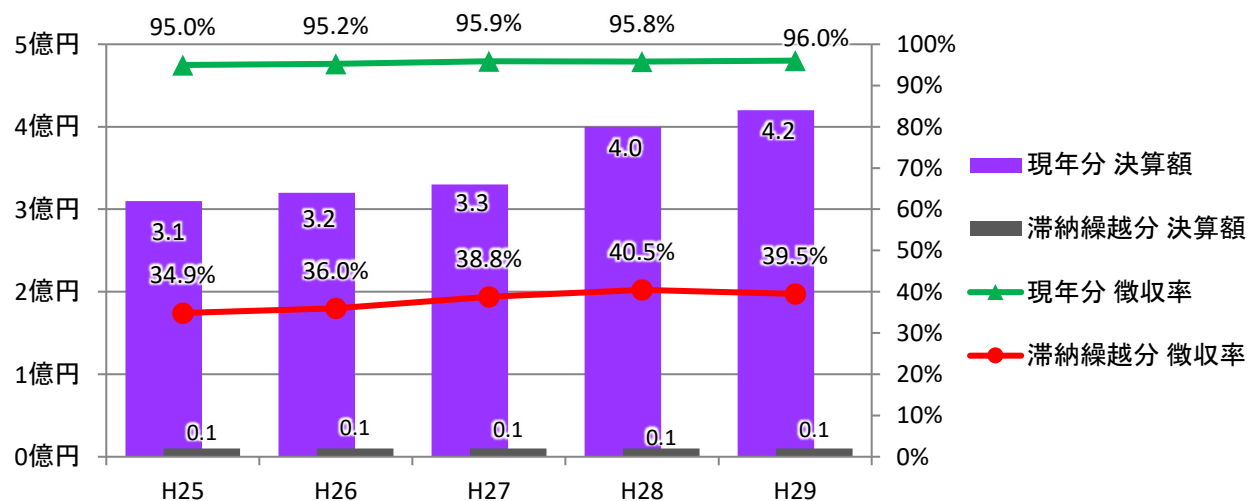
④市たばこ税の推移(H25～H29)

(単位: 億円)



⑤軽自動車税の推移(H25～H29)

(単位: 億円)

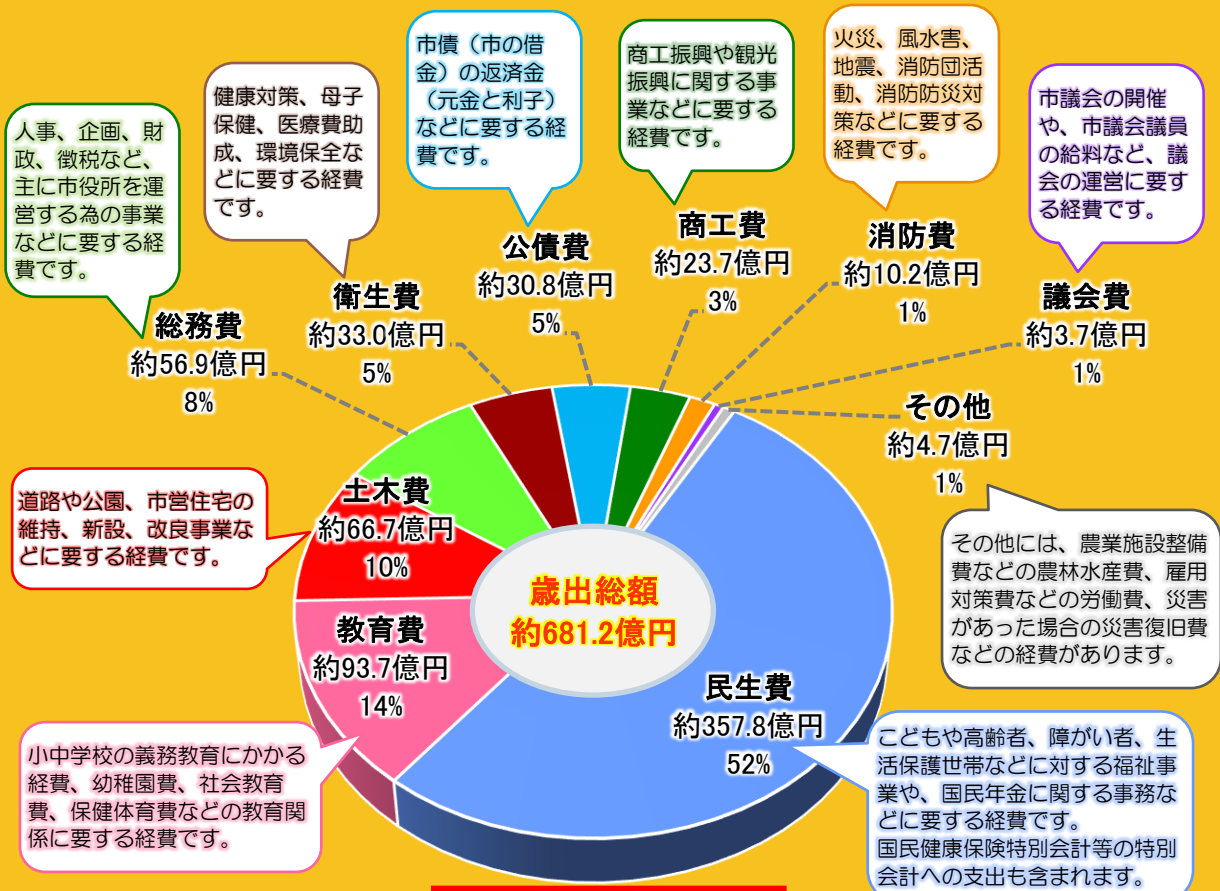


Ⅱ 市税の使いみち（目的別歳出決算**VER.**）



平成29年度の沖縄市一般会計歳出決算額は**約681.2億円**でした。それを市民一人当たりで換算すると**約481,300円**になります。歳出決算額を目的別でみると、一番多い歳出は民生費で**約357.8億円**となっており、全体の52%を占めています。

平成29年度一般会計歳出決算（目的別）内訳



目的別歳出決算を
市民一人当たりで
換算すると...

民生費 252,763円

教育費 66,219円

土木費 47,105円

総務費 40,221円

衛生費 23,336円

公債費 21,756円

商工費 16,752円

消防費 7,206円

議会費 2,631円

その他 3,311円

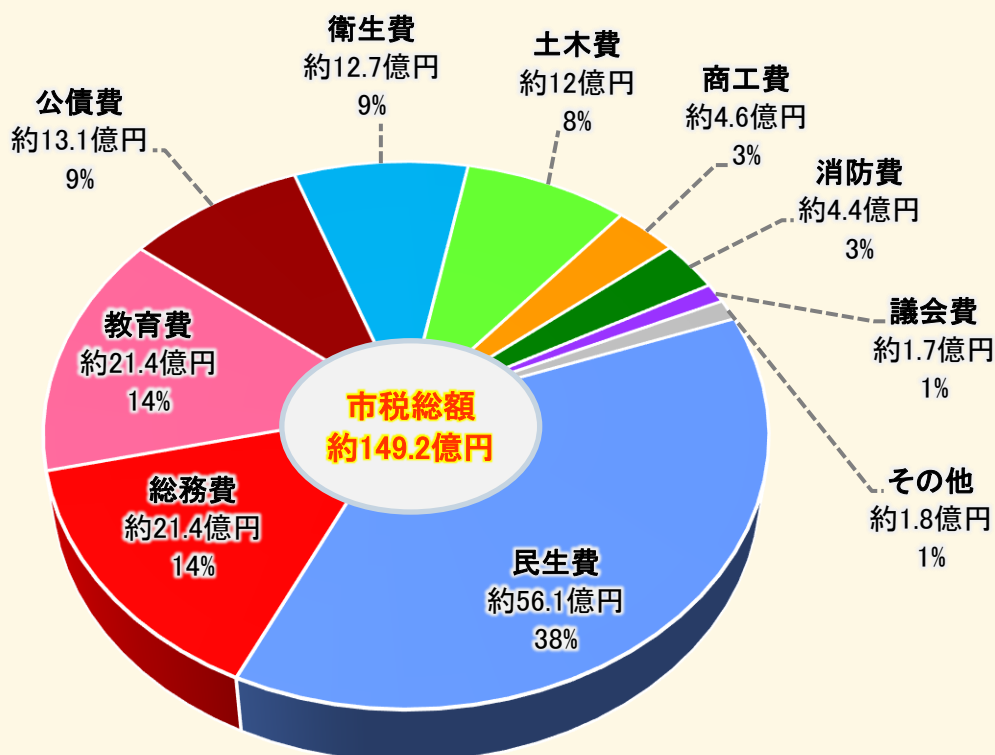
合 計
481,300円

※各金額とも、市民一人当たりで換算した歳出金額です。平成30年4月1日時点の人口（141,540人）を基準としています。

平成29年度に、市民のみなさまに納めていただいた市税
約149.2億円の使いみちは、次のとおりとなりました。
 歳出決算額と同様に民生費が一番多く、**約56.1億円**の市税
 が活用されています。



目的別歳出からみる市税の支出先



市税の使いみちを
 市民一人当たり
 に換算すると...

民生費 39,655円

総務費 15,104円

教育費 15,103円

公債費 9,290円

衛生費 8,960円

土木費 8,497円

商工費 3,272円

消防費 3,093円

議会費 1,180円

その他 1,234円

合 計
 105,388円

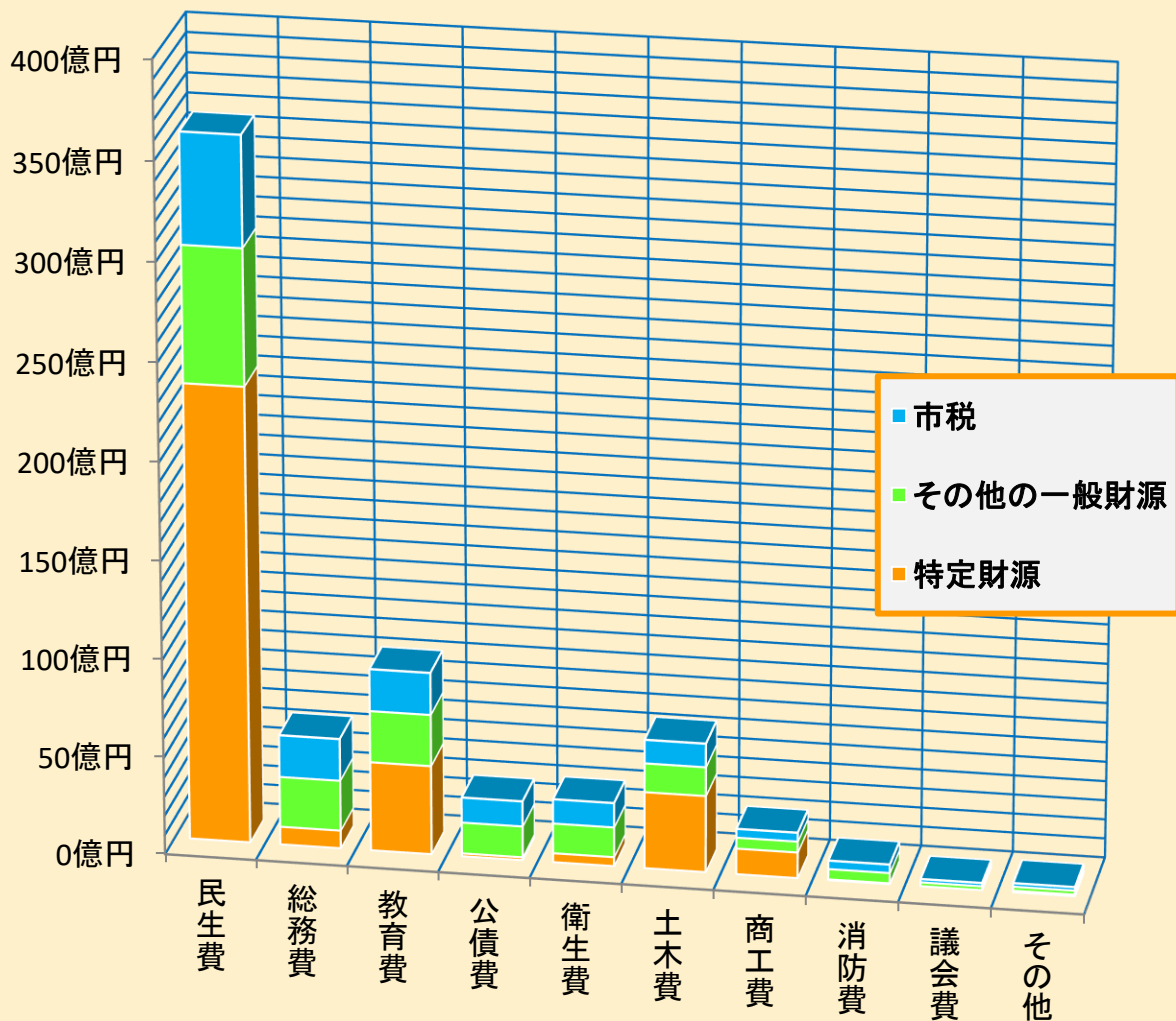


※各金額とも、市民一人当たり換算した歳出金額です。平成30年4月1日時点の人口(141,540人)を基準としています。

市税以外の財源って、何があるんだろう・・・？



一般会計歳出決算(目的別) 財源の内訳



グラフからわかるように、市の歳出のうち、市税で賄っている部分は全体の2割前後となっています。

財源は、使いみちが決められている特定財源と、使いみちが決められていない一般財源に区分できますが、市税は一般財源に区分されます。

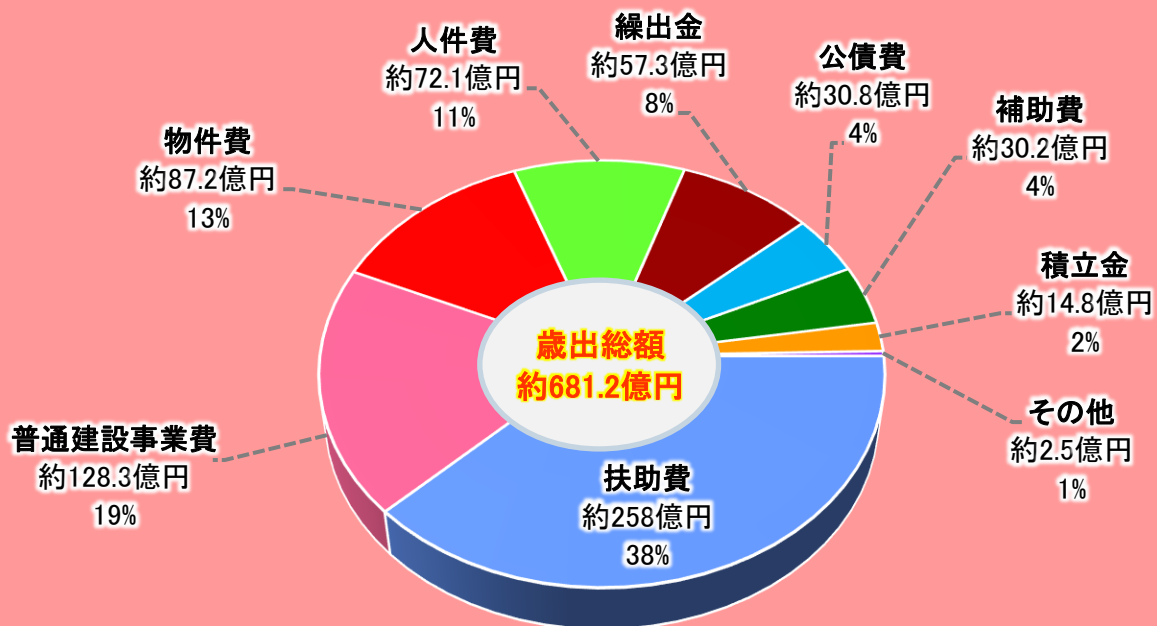
特定財源には、国や県からの補助金・負担金などがあり、市税以外のその他の一般財源には、自治体の財政状況に応じて国から交付される地方交付税などがあります。



Ⅲ 市税の使いみち（性質別歳出決算**VER.**）

平成29年度の決算額を性質別でみると、一番多い歳出は扶助費で**約258.0億円**となっており、全体の38%を占めています。また、市民一人当たりに換算すると、**182,319円**となります。

平成29年度一般会計歳出決算（性質別）内訳



性質別歳出決算を
市民一人当たりに
換算すると…

扶助費 182,319円

普通建設事業費 90,619円

物件費 61,589円

人件費 50,938円

繰出金 40,514円

公債費 21,755円

補助費 21,348円

積立金 10,449円

その他 1,769円



合 計
481,300円

※各金額とも、市民一人当たりに換算した歳出金額です。平成30年4月1日時点の人口（141,540人）を基準としています。

性質別歳出の詳しい内容を、次のページから説明します♪

人件費

人件費は、市の職員や議員、各種委員に支払う給料や報酬などにかかる経費です。

平成29年度は約72.1億円を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：約29.7億円)

人件費のうち職員給は、約45.5億円でした。一般会計の職員数は、平成30年4月1日現在で879人です。職員一人当たりに対する市民は約161人です。

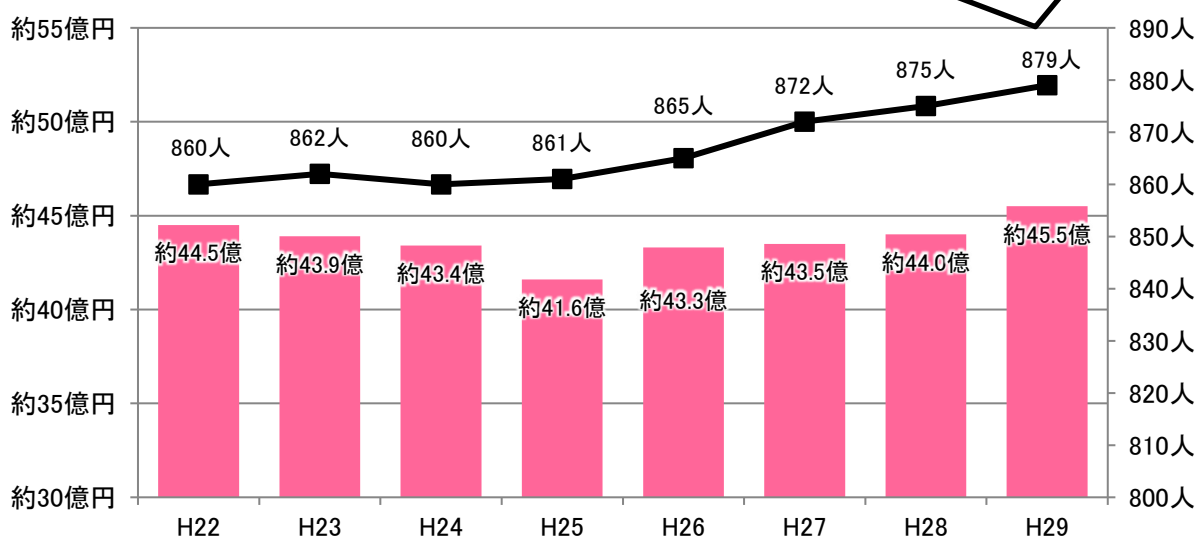
※特別会計にかかる人件費は、繰出金として支出しています。

※教育公務員の人件費も普通会計で支出しているため含めています。

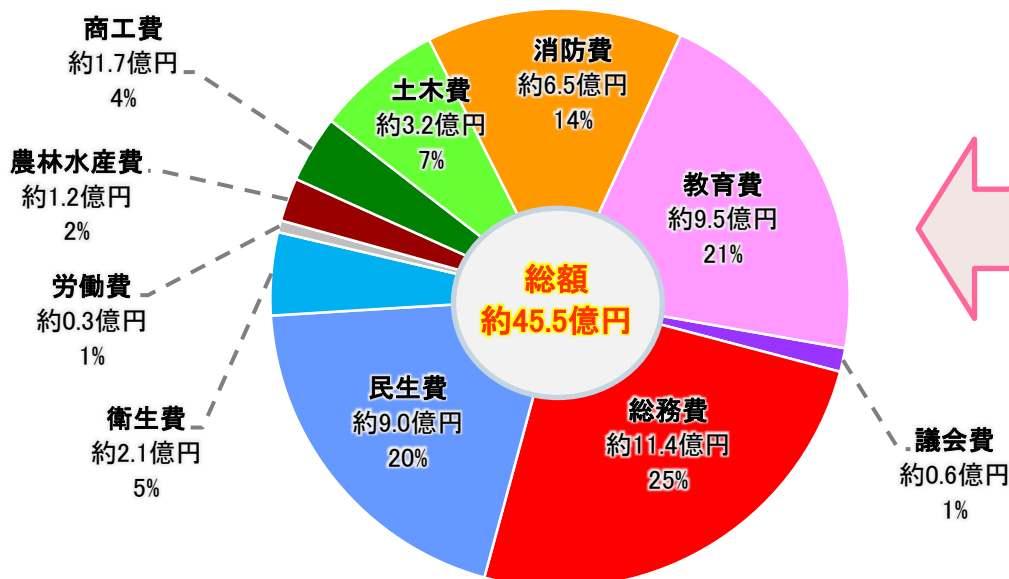
市民1人当たり
が納めた市税
105,388円のうち
約20,996円が
使われました。

◎職員給与と職員数の推移

8年間で職員数が19人、
職員給は1億円増えています。



平成29年度目的別職員給の内訳



内訳を目的別に見ると？

扶助費

扶助費は、市民のみなさまの医療や福祉など、社会保障にかかる経費です。

平成29年度は**約258億円**を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：**約30.3億円**)

◎ 扶助費の主な支出内容

子どもの福祉のために

保育園での子育て支援
(市立含まず)

約48.4億円

※市立保育所の管理運営費はP11
の物件費になります。

法人保育園 **41園**
地域型保育施設 **5園**
認可外保育園 **41園**

市民1人当たり
が納めた市税
105,388円のうち
約21,414円が
使われました。

児童手当受給者数
12,257人
対象：**0歳から
中学校卒業まで**

子育ての経済的支援

(児童手当、児童扶養手当、
要・準要保護児童の援助費
及び給食費の支給など)

約51.8億円

子どもやひとり親家庭
の医療費負担軽減

(乳幼児・母子父子要保護及び
準要保護等の医療費助成)

約4.6億円

障がいのある方の 福祉のために

介護や援助、自立のために
必要なサービスの提供
及び

障がいのある方への
経済的な支援

(地域生活支援・訓練費・自立支援医
療費等、特別障害者手当給付費、障
害者(児)支援給付費、重度心身障がい
者医療費助成金)

約60.7億円

高齢者の福祉 のために

老人ホームへの
入所措置費

約0.3億円

住宅設備改修や低所
得者への負担軽減

約424万円

※高齢者の医療と介護保険については、
特別会計で事業を実施しています。

生活にお困りの方 のために

生活保護費等の支給
(生活保護費、
住宅支援給付事業)

約86.7億円

被保護世帯数 4,010世帯
被保護者数 5,285人

扶助費

扶助費は、市民のみなさまの医療や福祉など、社会保障にかかる経費です。

平成29年度は**約258.1億円**を支出しました。

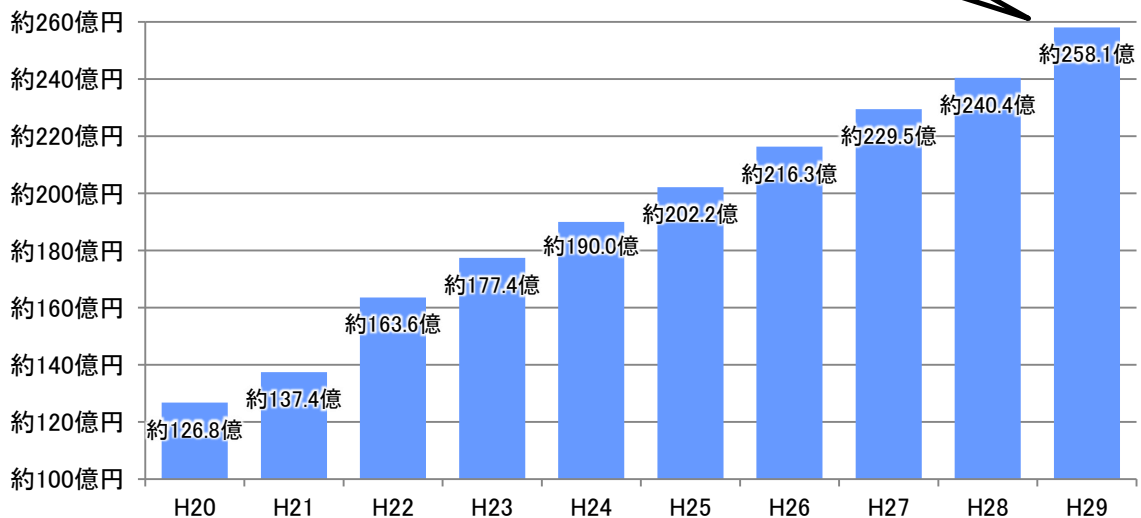
(金額のうち市税の占める割合：**約30.3億円**)

市民1人当たり
が納めた市税
105,388円のうち
約21,414円が
使われました。

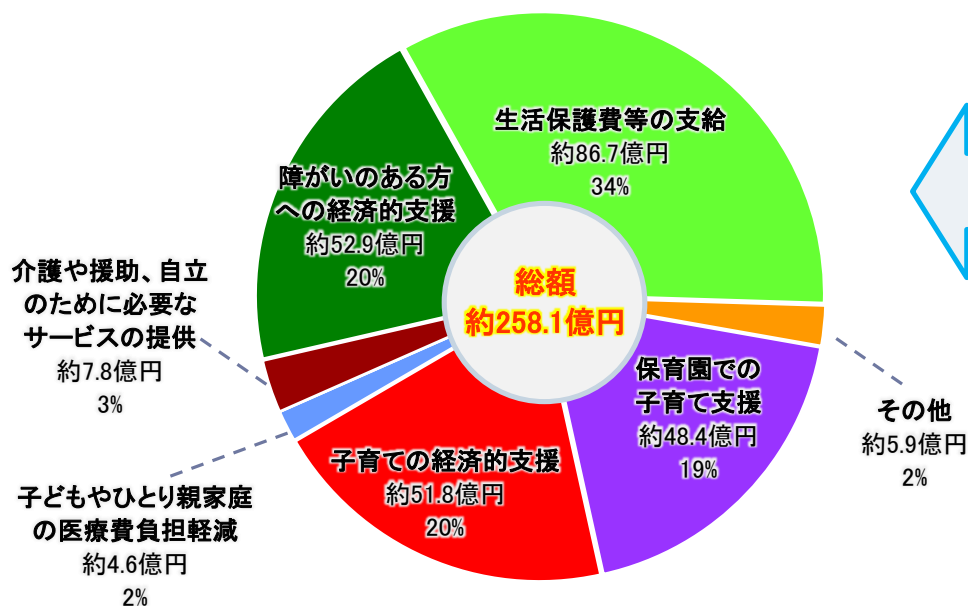
◎扶助費の推移

10年間で扶助費が**約131.3億円**増えており、
約204%の増加率となっています。

扶助費



平成29年度支出内容別扶助費の内訳



内訳を支出内容別に見ると？

普通建設
事業費

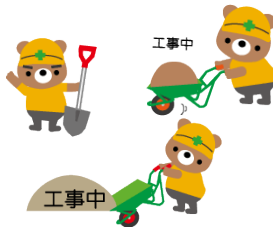
普通建設事業費は、市の建物や道路、公園などの整備にかかる経費です。

平成29年度は約128.3億円を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：約9.9億円)

市民1人当たり
が納めた市税
105,388円のうち
約6,971円が
使われました。

◎ 普通建設事業費の主な支出内容



公園整備事業
宮里第一公園、こどもの国公園、
海中道路跡都市緑地など
平成29年度執行額：約10.9億円



多目的アリーナ整備事業
平成29年度執行額：約4.3億円



小中学校校舎新增改築事業
高原小学校、美東中学校
平成29年度執行額：約24.3億円



山里第一地区市街地再開発促進事業
平成29年度執行額：約13.9億円



(仮称)多目的広場整備事業
平成29年度執行額：約9.9億円

普通建設
事業費

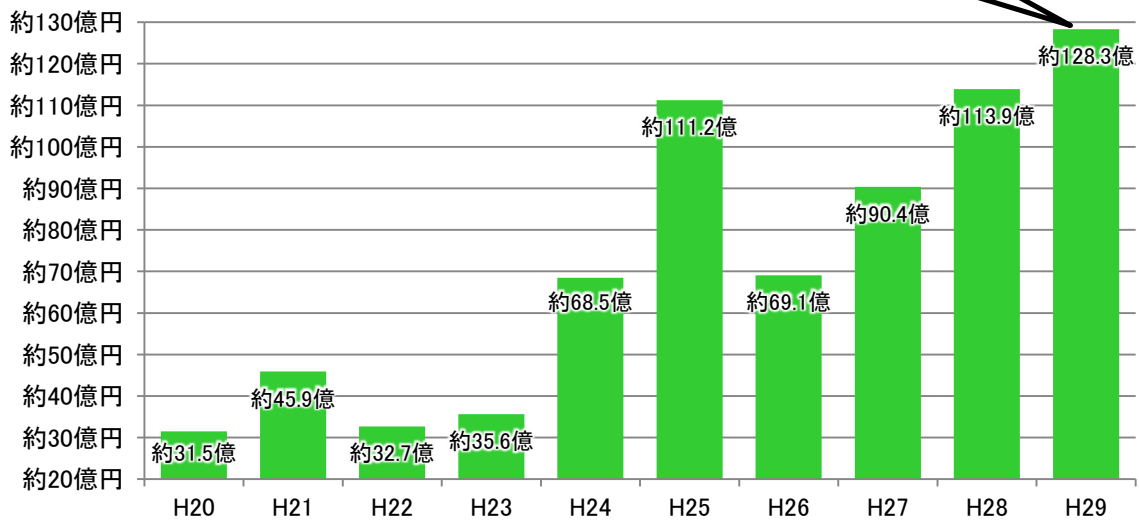
普通建設事業費は、市の建物や道路、公園などの整備にかかる経費です。
平成29年度は**約128.3億円**を支出しました。
(金額のうち市税の占める割合:**約9.9億円**)

市民1人当たり
が納めた市税
105,388円のうち
約6,971円が
使われました。

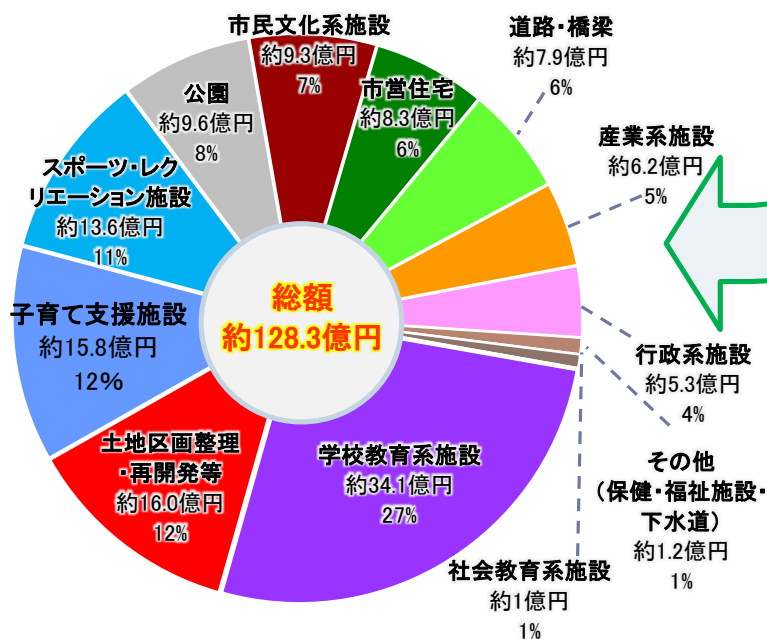
◎普通建設事業費の推移

10年間で普通建設事業費が**約96.8億円**増えており、
約406%の増加率となっています。

普通建設事業費



平成29年度施設類型別普通建設事業費の内訳



内訳を施設類型別に見ると？

※施設類型は、「沖縄市公共施設等総合管理計画」の施設類型に準じて分類しています。

物件費

物件費は、公共施設の管理運営や様々な公共サービスにかかる経費です。

平成29年度は**約87.2億円**を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：**約28.7億円**)

市民1人当たり
が納めた市税
105,388円のうち
約20,301円が
使われました。

◎ 物件費の主な支出内容

幼稚園や小中学校の管理運営

小学校数**16校**
児童数**9,797人**
中学校数**8校**
生徒数 **4,929人**
(学校基本調査より
平成29年5月1日時点)

小学校の管理運営
約4.6億円

中学校の管理運営
約2.5億円

幼稚園の管理運営
約2.9億円

学校給食の管理運営
約1.7億円

道路の管理

約1.9億円

公園の管理

約2.2億円

市内**91公園**

(公共施設状況調査より
平成30年3月31日時点)

消防施設の 管理運営

約0.5億円

ごみの収集

約5億円

健康診断など

約8.9億円

子育て支援施設 の管理運営

児童館や放課後児童クラ
ブの管理運営
約0.6億円

市立保育所の管理運営
約2.3億円

福祉の運営

障がい者の福祉
約1.6億円

高齢者の福祉
約0.1億円

その他の施設の管理運営

総合運動場の管理運営
約1.5億円

文化・教育施設の管理運営
約3.2億円

経済・産業施設の管理運営
約3.5億円

市役所庁舎の管理運営
約2.7億円

その他(こどもの国等)
約4.9億円

事務費等に
は…

職員代替補充費、事務(管理)費
約7.4億円

物件費

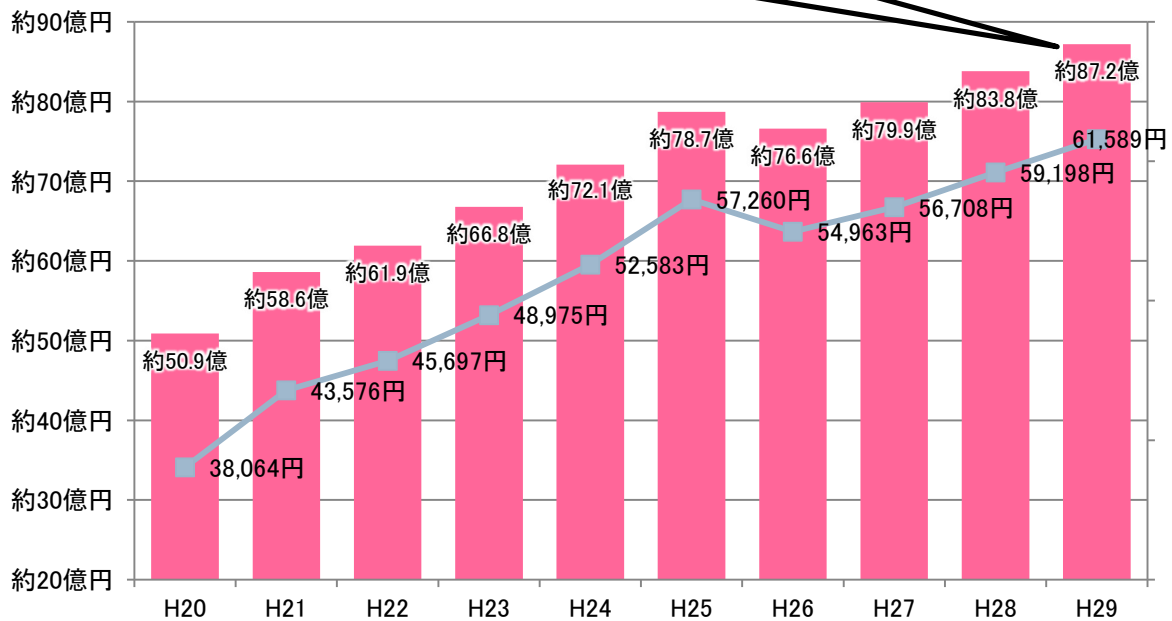
物件費は、公共施設の管理運営や様々な公共サービスにかかる経費です。

平成29年度は**約87.2億円**を支出しました。
(金額のうち市税の占める割合:**約28.7億円**)

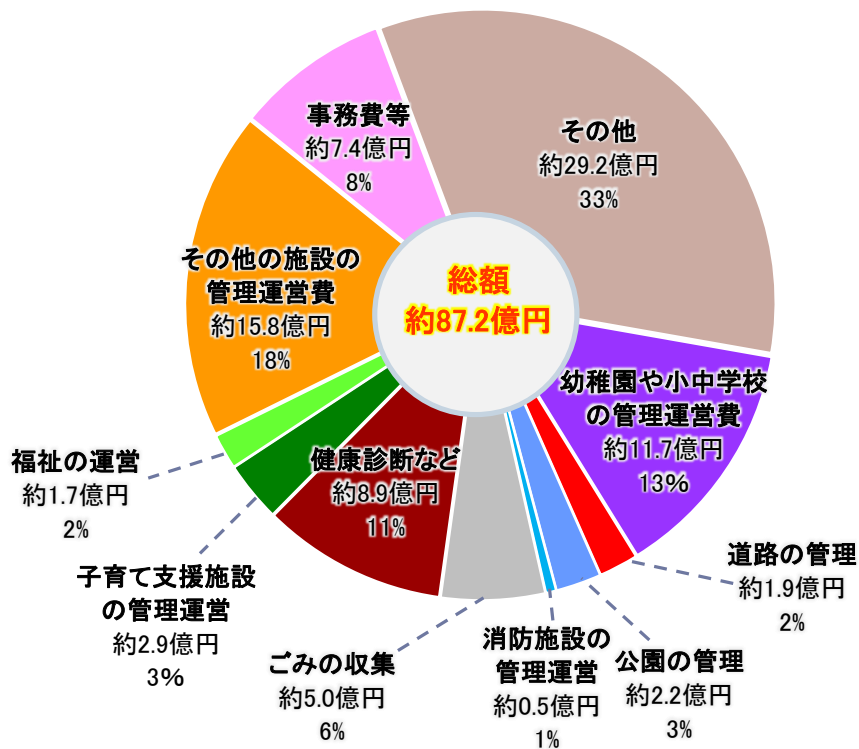
市民1人当たり
が納めた市税
105,388円のうち
約20,301円が
使われました。

◎物件費の推移

10年間で物件費が**約36.3億円**増えており、
約171%の増加率となっています。



平成29年度支出内容別物件費の内訳



内訳を支出内容別に見ると？

補助費

補助費は、他組織への補助や特定の事業への支援等にかかる経費です。

平成29年度は**約30.2億円**を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：**約10.4億円**)

市民1人当たり
が納めた市税
105,388円のうち
約7,352円が
使われました。

◎ 補助費の主な支出内容



各種イベントの開催支援

(沖縄全島エイサーまつり、国際カーニバル、
コザAランチ、産業まつり、工芸フェア
ピースフルラブ・ロックフェスティバル等)

約0.8億円



倉浜衛生施設組合への負担金

(ゴミ処理、し尿処理)

約9.9億円



各種団体の運営補助

約2.9億円



その他には・・・

住宅リフォーム支援、
各種団体への負担金や事業補助など

約16.6億円



繰出金

繰出金は、一般会計から特別会計等への支出にかかる経費です。

平成29年度は**約57.3億円**を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：**約19.8億円**)

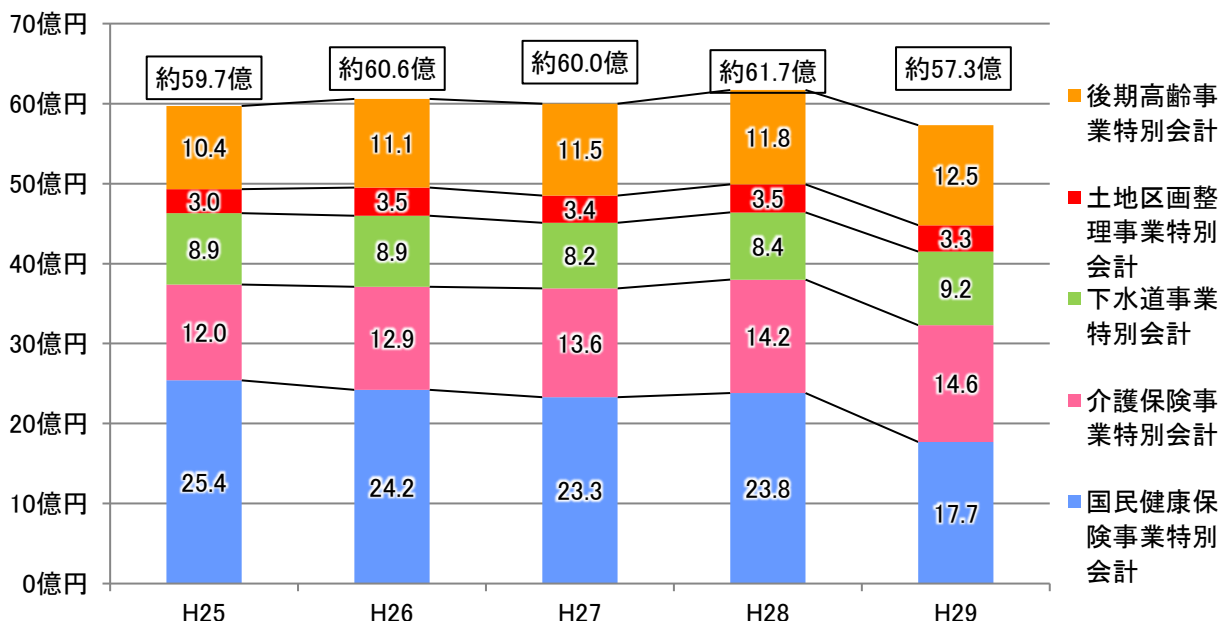
市民1人当たり
が納めた市税
105,388円のうち
約14,020円が
使われました。

国民健康保険事業や介護保険事業、下水道事業などの収入を持って行う会計(特別会計)へ、一般会計から法律によって設けられた基準等に基づいて繰り出しました。

※後期高齢者広域連合への一部負担金についても性質上繰出金として扱っています。

◎ 特別会計への繰出金の推移

※平成27年度は、土地開発基金への繰出金を除いた額としています。
基金への繰出金は、P17積立金で推移を表示しています。



公債費

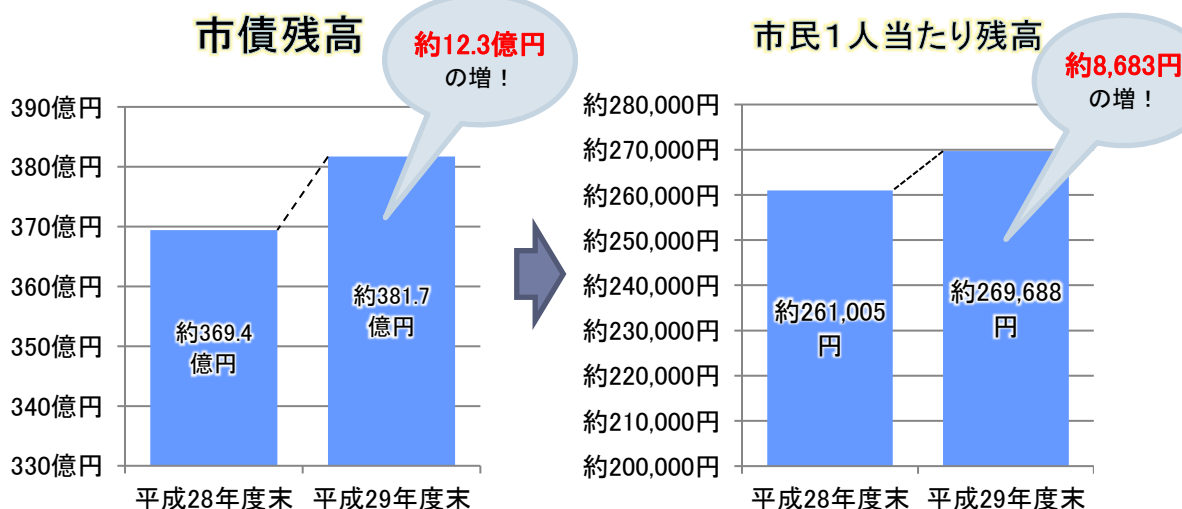
公債費は、市債の元金の返済と、利子の支払いにかかる経費です。

平成29年度は**約30.8億円**を支出しました。

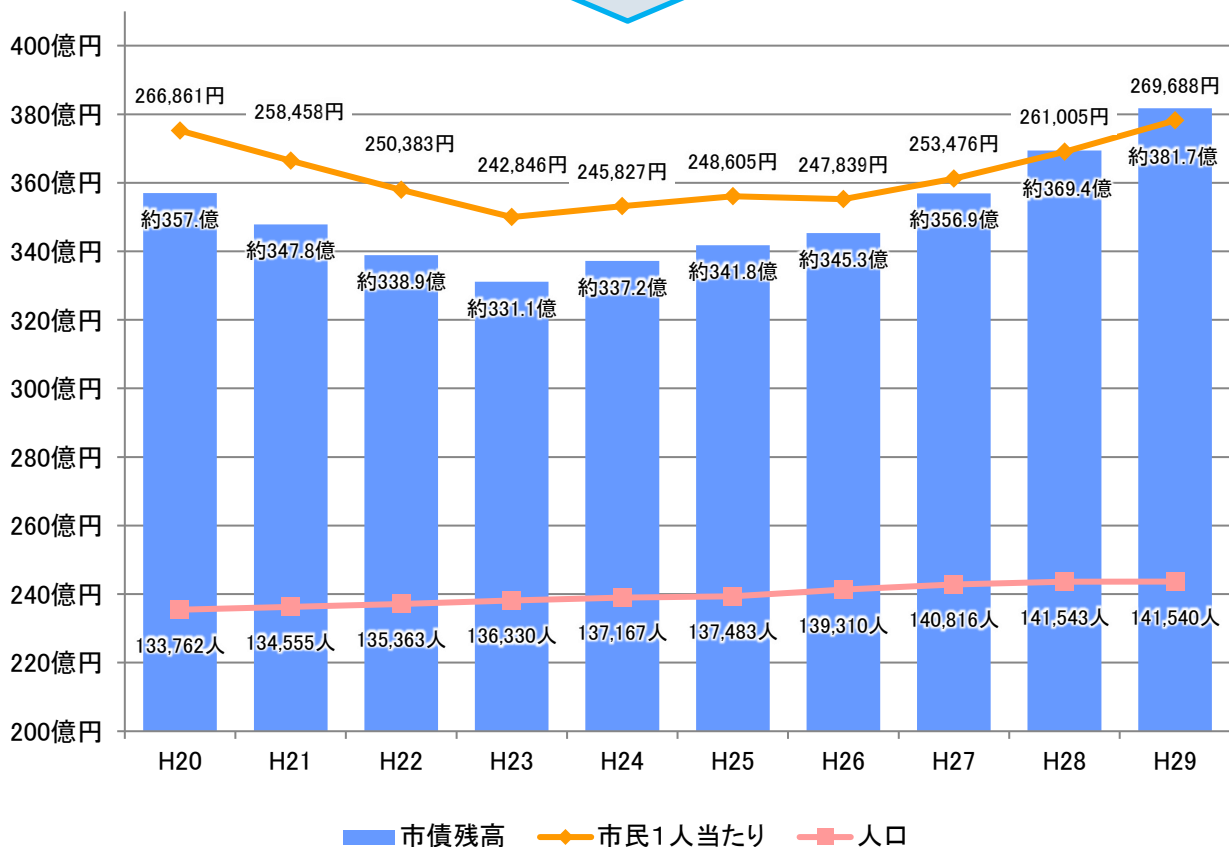
(金額のうち市税の占める割合：**約13.1億円**)

市債の元金を**約27.6億円**返済した一方で、新たに**約39.9億円**の借入れをした結果、市債残高が**約12.3億円**増え、市民1人当たりでも、**約8,683円**増えました。

市民1人当たり
が納めた市税
105,388円のうち
約9,290円が
使われました。



市債の残高を10年間の推移で見ると次のようになります。



積立金

積立金は、将来の財源不足に備えるための積立てにかかる経費です。

平成29年度は約14.8億円を支出しました。

(金額のうち市税の占める割合：約6.4億円)

市民1人当たり
が納めた市税
105,388円のうち
約4,548円が
使われました。

基金へ約14.8億円の積み立てをした一方で、約9億円を取り崩した結果、基金の残高が約5.8億円増えました。

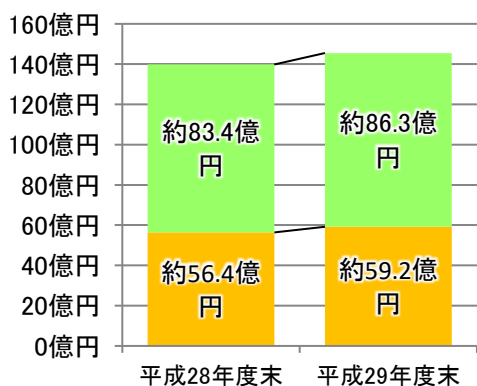
経済事業の変動等で財源が不足する場合などに備えて、決算剰余金等を積み立てています。

市債の償還や公共施設の整備、退職者手当への対応等、将来の特定の目的で使うための財源として積み立てています。

市民1人当たりでは、約10,449円を積み立て、約6,380円取り崩したことになります。

基金残高

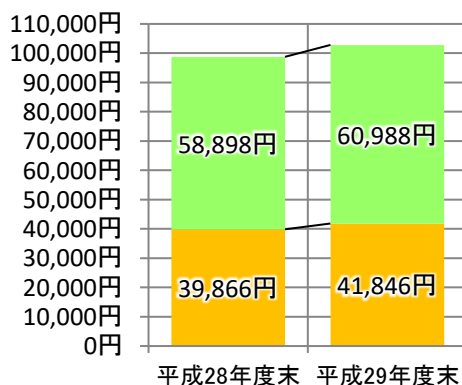
■ 財政調整基金 ■ 特定目的基金



※四捨五入の関係上、合計額が一致しない場合があります。

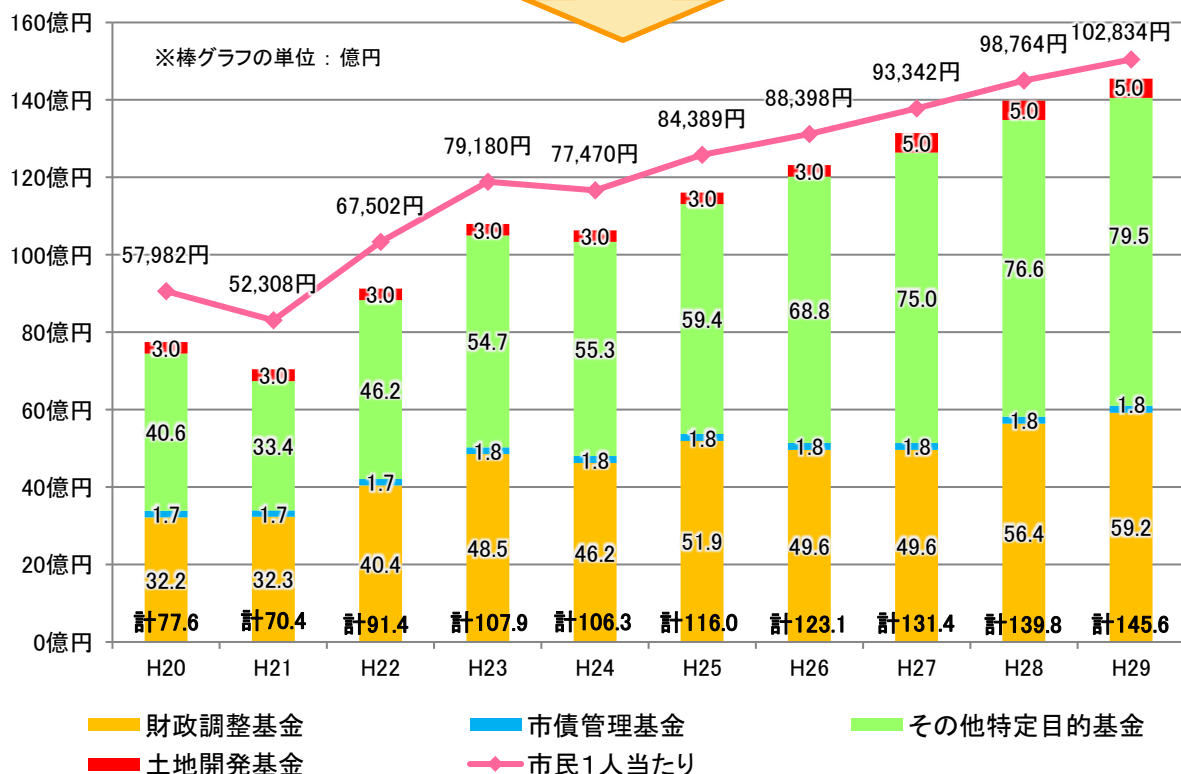
市民1人当たり残高

■ 財政調整基金 ■ 特定目的基金



※平成28年度末人口：141,543人(平成29年4月1日時点)
※平成29年度末人口：141,540人(平成30年4月1日時点)

基金の残高を10年間の推移で見ると次のようになります。



※四捨五入の関係上、合計額が一致しない場合があります。

IV 特集 ～沖縄振興特別推進市町村交付金について～

これまでの沖縄振興については、社会資本の整備などで成果をあげたものの、県民所得の向上や雇用の確保など克服すべき沖縄の固有課題が依然として残されています。

それらの課題解決に向けて、沖縄振興特別措置法が改正され、新たに地域の自主的な選択による自由度の高い交付金として、通称「一括交付金」と呼ばれる、沖縄振興特別推進市町村交付金が創設されました。

沖縄市においては、平成29年度は沖縄市の振興や課題解決に向けて5つの分野で11パッケージ、43事業に活用し、約20億5428万円が交付されました。

※各金額は、平成29年度内完了事業分と平成28年度繰越事業（平成29年度支払分）との合計となっております。

観光の振興

※交付対象事業費合計：約13億772万円
交付金額合計：約10億1189万円

①コザ文化を活かした観光振興プロジェクト

交付対象事業費：約9億6470万円（交付金額：約7億3748万円）



魅力あふれる観光地づくりを目指すため、伝統文化と異文化の融合により創出した「コザ文化」および貴重な伝統文化や、緑豊かな地域資源等を活用するとともに、エイサーのまち宣言をおこなった本市において、エイサーイベントの充実化をはじめ、拠点施設の形成に向けた取り組みや観光メニューの創出などの支援をおこなう。

②スポーツコンベンション推進プロジェクト

交付対象事業費：約1億7239円（交付金額：約1億3791万円）



スポーツコンベンションシティを推進し観光の振興を図るため、コザ運動公園内にある沖縄市立総合運動場体育施設等の機能充実に取り組むとともに、モータースポーツやプロスポーツ等団体のPRやイベントの開催、商店街等とスポーツイベントとの連携促進などに取り組む。

③観光都市基盤整備事業

交付対象事業費：約1億3822万円（交付金額：約1億1057万円）



特色あるデザインを施した道路照明の設置やサイン等整備など、観光地へのアクセス道路を整備し、観光都市の形成に資する歩行空間づくりを推進する。

④コミュニティーパーク整備事業

交付対象事業費：約3241万円（交付金額：約2593万円）



市民の健康づくりや地域住民相互の交流等を促進するため、地域住民の意見・ニーズを反映させた実施設計をもとに、誰もが快適に健康づくりを行える公園整備工事を実施する。

※各金額は、平成29年度内完了事業分と平成28年度繰越事業（平成29年度支払分）との合計となっております。

こどものまち推進

※交付対象事業費合計：約9億4759円
交付金額合計：約7億5807万円

⑤未来を創る人材育成事業

交付対象事業費：約3億9884万円（交付金額：約3億1907万円）



沖縄県の児童生徒の学力は、全国的にも低いとされる中、本市においても児童生徒の学力向上は重要な課題である。また、在籍児童生徒数に占める不登校の児童生徒数については、比較的高い割合が示されている。

児童生徒の総合的な学力の向上および青少年の健全育成等を図ることで、こどもたちの可能性を育み、本市及び沖縄県の未来をつくる人材としての育成に取り組む。

⑥沖縄こどもの国施設整備事業

交付対象事業費：約5億4701万円（交付金額：約4億3761万円）



沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設等の整備やサイン等の整備、拡充予定地の用地測量を行う。

⑦郷土資料整備事業

交付対象事業費：約174万円（交付金額：約139万円）



沖縄県・沖縄市に関する歴史や文化、産業に関する郷土資料を収集し、本市の伝統文化と異文化が融合した特徴的なコザ文化をはじめとする地域文化を学ぶ環境づくりに努める。

※各金額は、平成29年度内完了事業分と平成28年度繰越事業（平成29年度支払分）との合計となっております。

安全・安心なまちづくり

※交付対象事業費合計：約4876万円
交付金額合計：約3901万円

⑧災害に強いまちづくり事業

交付対象事業費：約4876万円（交付金額：約3901万円）



台風や地震、津波等の災害から市民等の安全を確保するため、多様な防災情報の提供を図るとともに、自主防災組織の結成促進や災害用備蓄の確保などおこなう。

また、海拔の低い地域からの緊急避難道路の整備やこどもたちへの防災・安全意識啓発、救命処置の普及活動等に取り組む。

産業の振興

※交付対象事業費合計：約1億7361万円
交付金額合計：約1億3888万円

⑨沖縄市きめ細かな就労支援事業

交付対象事業費：約1億3827万円（交付金額：約1億1061万円）



雇用の対策を図るため、若年求職者等を対象とした就労支援や各種講座等の充実、技術力の向上や能力開発等につながる人材育成の取り組み、企業誘致や雇用創出の受け皿となる基盤整備の調査検討、中心市街地における大型空き店舗の取得・再整備などに取り組む。

⑩東部海浜地区開発事業

交付対象事業費：約3534万円（交付金額：約2827万円）



東部海浜開発地区景観基本方針検討調査に取り組むとともに、イベント等を活用したPR業務を行う。また、東部海浜開発事業を推進するため、東部地域と連携し、地域活性化を推進する業務を行う。

※各金額は、平成29年度内完了事業分と平成28年度繰越事業（平成29年度支払分）との合計となっております。

その他の特殊事情

※交付対象事業費合計：約1億3304万円
 交付金額合計：約1億643万円

⑪里道および水路の境界確定復元事業

交付対象事業費：約1億3304万円（交付金額：約1億643万円）



戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元作業をおこなう。

V データ編

平成30年4月1日現在の人口 141,540人

1 沖縄市の会計別決算額

(単位:万円)

	会計名	歳入額	歳出額	差引額(ア)	繰越財源(イ)	実質収支(ア-イ) (剰余金)
1	一般会計	6,995,134	6,812,327	182,807	55,461	127,346
2	土地区画整理事業特別会計	43,328	42,360	968	417	551
3	下水道事業特別会計	267,024	259,530	7,494	3,732	3,762
4	国民健康保険事業特別会計	2,157,795	2,102,285	55,510	0	55,510
5	介護保険事業特別会計	963,336	942,850	20,486	33	20,453
6	後期高齢者医療事業特別会計	135,298	130,434	4,864	0	4,864
	合 計	10,561,914	10,289,786	272,128	59,643	212,485

2 一般会計の歳入決算額

(単位:万円、%)

	区 分	収入済額	構成比	前年度収入額	増減比率	市民一人あたり
1	市税	1,491,661	21.3%	1,444,472	103.3%	105,388円
2	地方譲与税	26,725	0.4%	27,141	98.5%	1,888円
3	利子割交付金	1,358	0.0%	1,117	121.6%	96円
4	配当割交付金	2,753	0.0%	1,827	150.7%	195円
5	株式等譲渡所得割交付金	3,062	0.1%	1,440	212.6%	216円
6	地方消費税交付金	210,092	3.0%	191,602	109.7%	14,843円
7	自動車取得税交付金	6,962	0.1%	5,118	136.0%	492円
8	国有提供施設等所在市町村助成交付金	136,508	2.0%	136,086	100.3%	9,645円
9	地方特例交付金	4,803	0.1%	4,050	118.6%	339円
10	地方交付税	1,123,388	16.1%	1,127,953	99.6%	79,369円
11	交通安全対策特別交付金	1,933	0.0%	2,001	96.6%	137円
12	分担金及び負担金	62,149	0.9%	56,210	110.6%	4,391円
13	使用料及び手数料	78,989	1.1%	72,077	109.6%	5,581円
14	国庫支出金	2,078,320	29.7%	1,917,904	108.4%	146,836円
15	県支出金	796,920	11.4%	780,568	102.1%	56,303円
16	財産収入	126,133	1.8%	132,482	95.2%	8,912円
17	寄附金	2,990	0.0%	3,323	90.0%	211円
18	繰入金	100,132	1.4%	73,551	136.1%	7,074円
19	繰越金	291,195	4.2%	357,387	81.5%	20,573円
20	諸収入	50,454	0.7%	51,648	97.7%	3,565円
21	市債	398,607	5.7%	397,061	100.4%	28,162円
	合 計	6,995,134	100.0%	6,785,018	103.1%	494,216円

3 一般会計の目的別歳出決算額

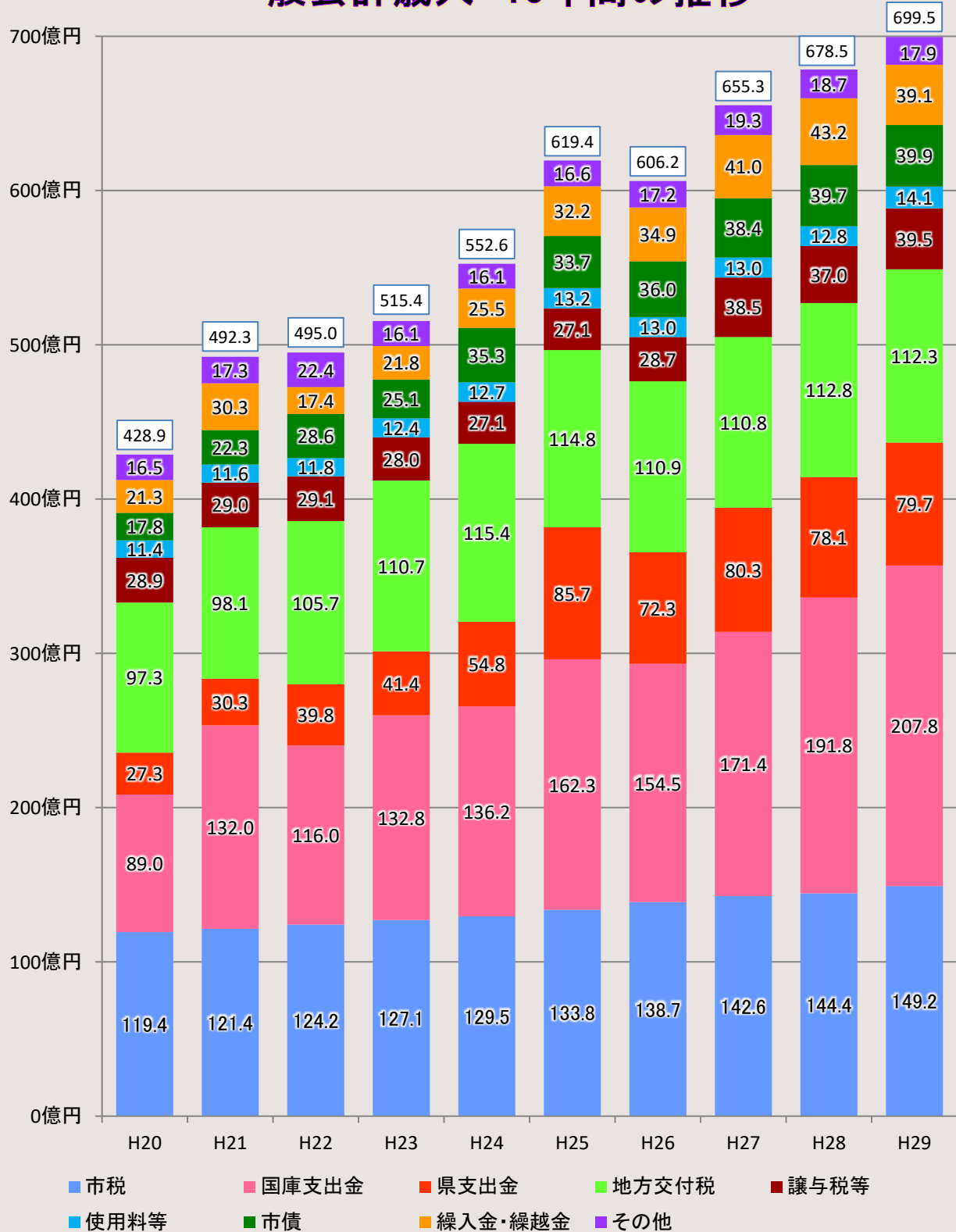
(単位:万円、%)

	区 分	支出額	構成比	前年度支出額	増減比率	市民一人あたり
1	議会費	37,237	0.5%	38,035	97.9%	2,631円
2	総務費	569,290	8.4%	586,860	97.0%	40,221円
3	民生費	3,577,615	52.5%	3,309,621	108.1%	252,763円
4	衛生費	330,301	4.8%	326,848	101.1%	23,336円
5	労働費	12,128	0.2%	12,326	98.4%	857円
6	農林水産費	34,736	0.5%	31,056	111.8%	2,454円
7	商工費	237,103	3.5%	233,446	101.6%	16,752円
8	土木費	666,725	9.8%	619,105	107.7%	47,105円
9	消防費	102,000	1.5%	109,895	92.8%	7,206円
10	教育費	937,264	13.8%	917,778	102.1%	66,219円
11	災害復旧費	0	0.0%	0	—	0円
12	公債費	307,928	4.5%	308,853	99.7%	21,756円
13	諸支出金	0	0.0%	0	—	0円
14	予備費	0	0.0%	0	—	0円
	合 計	6,812,327	100.0%	6,493,823	104.9%	481,300円



歳入の10年間の推移を見ると、**約270.6億円の増**となっています。主な内訳としては、国庫支出金が約118.8億円の増、県支出金が約52.4億円の増、市税が約29.8億円の増、市債が約22.1億円の増となっています。

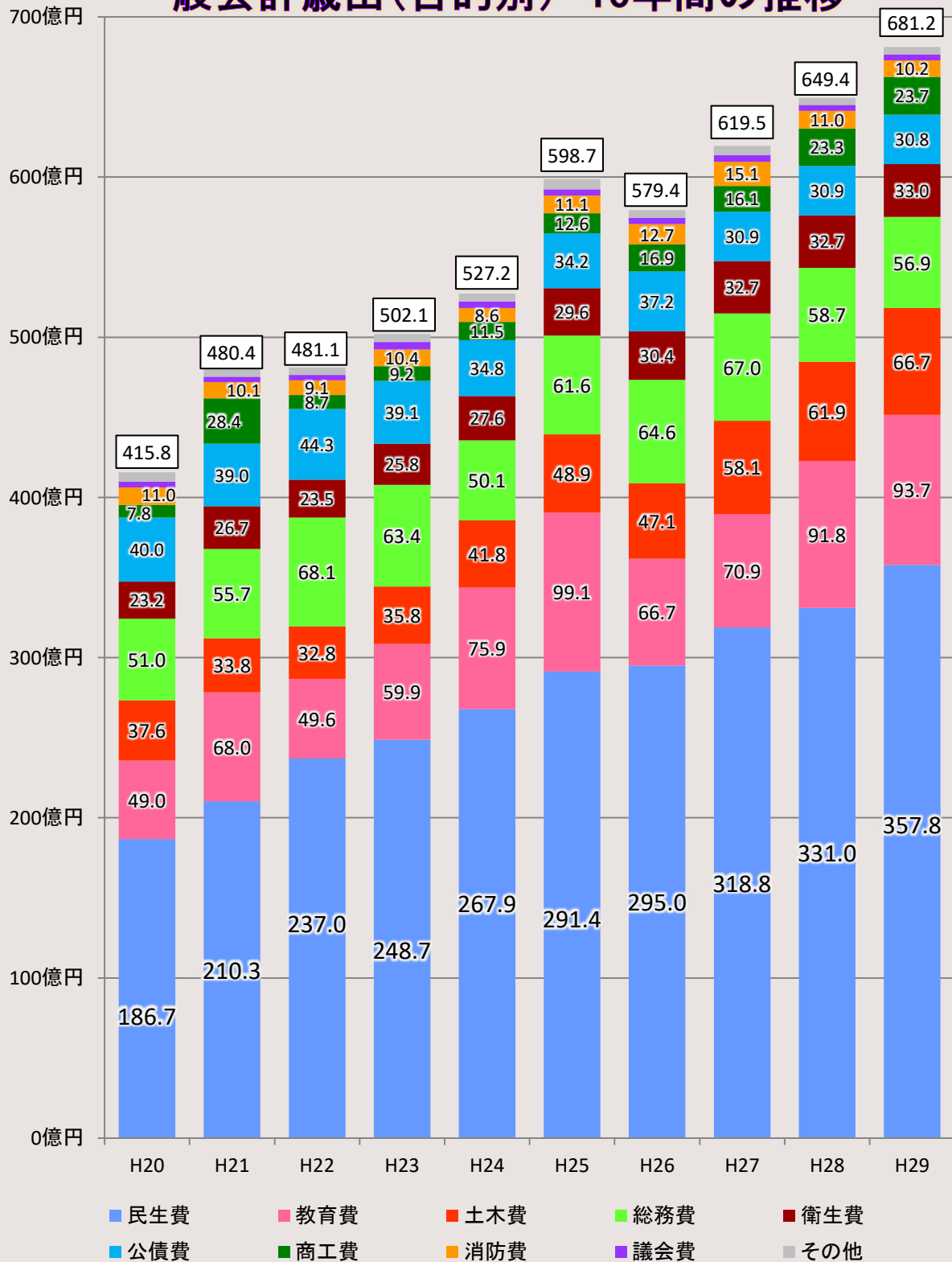
一般会計歳入 10年間の推移



歳出(目的別)の10年間の推移では、**約265.4億円の増**となっています。主な内訳としては、民生費が約171.1億円の増、教育費が約44.7億円の増、土木費が約29.1億円の増、商工費が約15.9億円の増となっており、公債費が約9.2億円の減となっています。



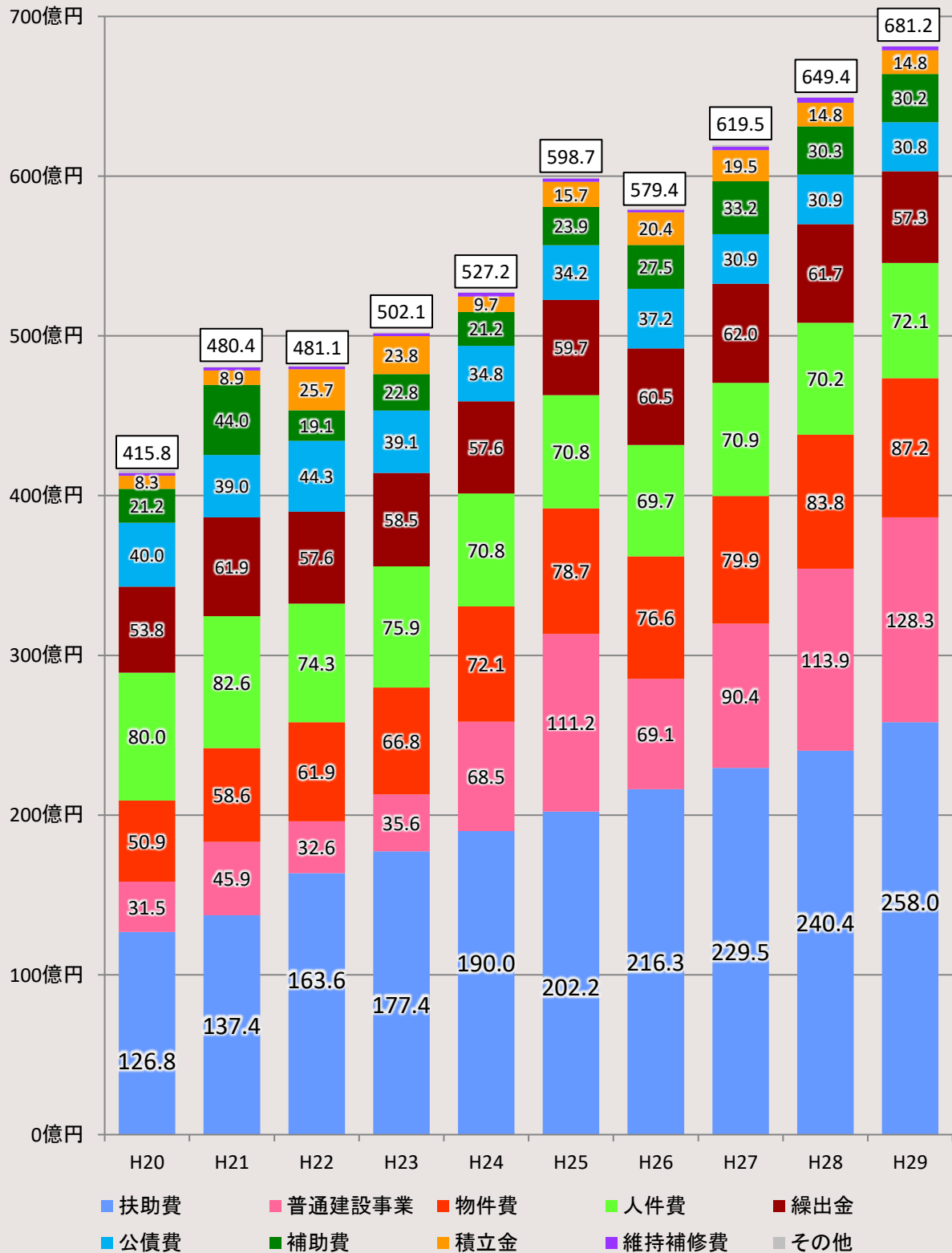
一般会計歳出(目的別) 10年間の推移

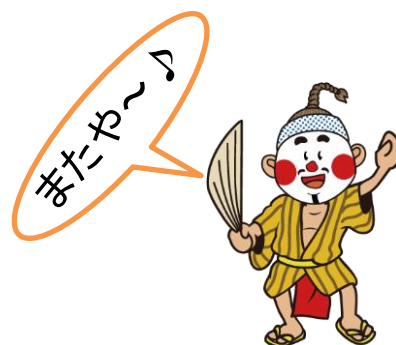




こちらのグラフは、歳出(性質別)の10年間の推移です。
 主な内訳としては、扶助費が約131.2億円の増、普通建設事業が約96.8億円の増、物件費が約36.3億円の増となっており、人件費が約7.9億円の減、公債費が約9.2億円の減となっています。

一般会計歳出(性質別) 10年間の推移





沖縄市の市税の使いみち

発行：沖縄市企画部財政課

〒904-8501 沖縄市仲宗根町26番1号

TEL：098-939-1212

FAX：098-934-3830

URL：<http://www.city.okinawa.okinawa.jp>